



安全ガイドブック

環境製品

- ・ リサイクル 4
- ・ 破袋機
- ・ ペトリス

☆ご使用前に必ずお読みください



はじめに

- この安全ガイドブックは、日工製リサイクル4、破袋機、ペトリス（以下、日工製環境製品とする）用に作成したものです。他社製品には使用しないで下さい。
- 日工製環境製品の構成装置は、設計時にリスクアセスメントを行いリスクの低減を行っていますが、残留リスクは存在しています。本安全ガイドブックや取扱説明書等に基づいて、お客様自身でリスクアセスメントを実施し、可能な限りリスクを低減して安全にお使い下さい。
- この安全ガイドブックは、安全（残留リスク）に関する注意事項を記載したもので詳細な操作手順や作業手順については、取扱説明書を参照下さい。
- 誤った機械の操作や誤った作業手順での点検・修理は、労働災害の原因となります。ご使用前には、必ず取扱説明書をよく読み、操作方法や作業手順を習熟した上でご使用下さい。
- 動力駆動機構を有する装置の点検・修理には、リスクが伴います。必ず動力電源を遮断してから作業を行うようにお願いします。
- 安全を確保するために、この安全ガイドブックの内容をよく理解し、安全な取り扱い出来る知識と技能のある人が作業を行って下さい。

◇注意・警告ラベルについて

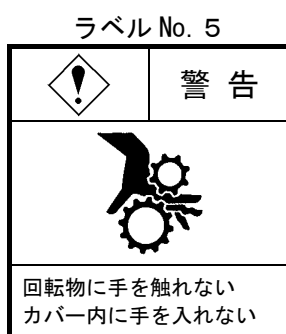
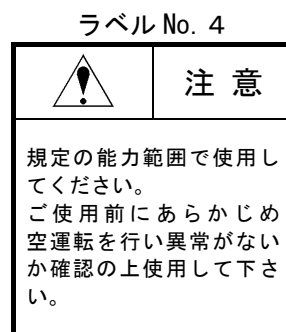
☆機械には注意・警告ラベルが貼ってあります。

注意・警告ラベルについては、いつもきれいにして傷をつけたりしないようにして下さい。

又、汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼って下さい。

新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全に拭き取り、乾いた面にして元の位置に貼って下さい。

◇注意・警告ラベルとそのあつかい



ラベル No. 8

ラベル No. 7



火
気
厳
禁

注意シンボルマーク	シンボル用語	内 容
	警 告	取扱いを誤った場合に、 <u>危険な状態</u> が起こる可能性があり、死亡・重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注 意	取扱いを誤った場合に、 <u>危険な状態</u> が起こる可能性があり、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び、物的損害のみの発生が想定される場合。
	強 制	しなければならないこと。 たとえば、接地工事など。
	禁 止	してはならないこと。

☆注意シンボルマークは、一般的な場合を示しています。

☆上表中の重傷とは、感電、骨折等で後遺症が残るもの及び、治療に入院や長期の通院を要するものをいいます。

また、中程度の障害や軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要しない感電・骨折等をいい、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷に関わる拡大損害をいいます。

◇安全に作業するために（環境製品共通事項）

- ☆安全な服装で操作、作業を行ってください。乱れた服装は袖口などが機械の突起物やスイッチなどに引っかかったりして思わぬ事故の原因となります。上着の袖口やズボンの裾、靴ひもなどは特に注意して下さい。
- ☆ヘルメット、手袋、安全靴、耳栓、防塵マスクなどの保護具を点検時、運転作業時及び異常事態の対応時に着用してください。作業内容により保護眼鏡、皮手袋、安全带などの保護具を着用して下さい。
- ☆保護具は使用前に機能を確認して下さい。
- ☆つまずいたり、滑ったりして危険ですので、作業区域、機械まわりに部品や工具など、物を置かないようにして下さい。
- ☆保守点検時は必ず全てのブレーカを切り、制御盤に錠をかけ、その錠を点検者本人が携帯してください。また、解錠は点検者本人が行って下さい。
- ☆運転前の点検においても制御盤扉に「点検中」の警告札を取付けて下さい。
- ☆運転前に点検を確実にを行い、異常があれば必ず直してから運転して下さい。
- ☆表示ランプで正常に無負荷運転されているか確認してください。（電源ランプの点灯、過負荷ランプの消灯、非常ランプの消灯）
- ☆異常音や異臭などの異常がないか確認してください。異常を感じたら直ちに「非常停止」スイッチを押して装置を停止させて下さい。
- ☆帯電部には触れないで下さい。
- ☆使用しない時は全ての電源を切ってください。
- ☆保守点検は定期的の実施し、損傷した部分があれば修理してから使用して下さい。
- ☆異常がある場合は、必ず復旧してから運転して下さい。
- ☆動作しなければ点検できない作業は、必ず手動運転で行って下さい。
- ☆作業場所に設置した作業足場を撤去し、交換部品や工具等が残っていないか確認して下さい。
- ☆作業者は整備、修理場所に人が残っていないか確認し、自分で制御盤の「点検中」の警告札を取り外して下さい。また、装置内及び作業場に工具等の残留物がないか確認して下さい。
- ☆電源を入れるときには、人がいないことを十分に確認して下さい。
- ☆共同作業者に連絡を取ってから電源を入れ、整備、修理箇所が所定の機能を発揮しているか確認して下さい。
- ☆難しい作業を無理に行うと思わぬ事故の原因となります。そのような場合はメーカーに修理を依頼して下さい。
- ☆設備を勝手に改造しないで下さい。無理な改造は機能や寿命の低下の原因となるだけでなく、安全に対しても大きな欠陥を生じる事があります。
- ☆製品の荷降ろしについては、フォークリフト、クレーンで有資格者により行って下さい。吊具等に不備が無い、使用前に必ず確認して下さい。

- ☆組み立て中に、手、足等身体を挟まれないよう十分注意をはらって組み立てを行って下さい。
- ☆組み立て時は取付不良やボルトの締め忘れがないか確認して下さい。
- ☆危険ですので吊り荷の下には絶対に入らないように注意して下さい。
- ☆作業を行う際の合図は確実に行って下さい。
- ☆点検は一人で行わず、必ず二人以上で行って下さい。
- ☆漏電による事故防止のため、漏電遮断装置を取り付け、アースを確実に取って下さい。
- ☆1次側配線工事はお近くの電気工事店にご相談下さい。
- ☆運転中に作業者が近づく可能性がある場所、又、回転部には必ず安全柵、カバーを設けて下さい。また、整備の際は、保護カバーを付けた状態で行って下さい。
- ☆回転部に、手・指は絶対に触れない様にご注意下さい。又、カバー内、排出口に手を入れないでください。軍手、作業服の袖も巻き込む恐れがありますので十分注意して下さい。
- ☆停止スイッチの周囲には障害物を置かないで下さい。
- ☆機械の上に乗ったり、またいだり、異物を乗せたりしないで下さい。
- ☆機械の運転は事業者から指名された人が行って下さい。
- ☆搬送物が落下する可能性のある場所には、カバーを設けて下さい。又、搬送物が堆積しない様十分注意して下さい。
- ☆高所での作業になる場合は、墜落制止用器具を着用して下さい。フック掛けが設置周囲にない場合は、装置そのものに安全帯フック掛けを設置下さい。又、部品・装置等についても落下防止対策を施した上で作業下さい。
- ☆取扱説明書に記載のあるワークの不適用の中でも下記は、重大災害になりますので絶対に機械に投入しないで下さい。
 - ・発火・引火、爆発の恐れのあるもの（スプレー缶、ガスボンベ、塗料等）

コンベヤの安全ガイドブックもご一読ください。

リサイクル4に関する注意

☆アルミセパレータ・吊下磁選機について、下記の事項に注意してください。

- ・ペースメーカー装着の方は、アルミセパレータ・磁選機には近づかないでください。
- ・アルミセパレータにスチール等の磁性体（磁石に引き寄せられるもの）を近づけないでください。強力な磁力に引き寄せられて危険です。
- ・時計や精密機器を近づけないでください。磁力の影響で故障する可能性があります。

破袋機に関する注意

☆運転時、破袋機の点検扉は確実に閉めておき、ホッパ内に入らないようにして下さい。

また、カバー内に手を入れたり、排出口に手を入れて袋などを無理に取らないで下さい。

発行日 2025年4月1日 初版

編集・発行 日工株式会社

〒674-8585 兵庫県明石市大久保町江井島 1013-1

TEL. 078-947-3131